

1月の園だより

謹賀新年

学校法人 鶴来学園
鶴来第一幼稚園

新年明けまして、おめでとうございます。昨年を表す漢字一字は「災」でしたが、今年は穏やかで平和な年となりますよう祈念したいと思います。

さて、年末年始はどのようにお過ごしになりましたか？ 私は身体のちょっとした不具合を治すために、冬休み期間を利用して入院と手術を行ってきました。鼻中隔湾曲症といい、鼻の骨が通常よりも強く曲がっているために片側の鼻がほぼ塞がっている状態を治すための手術です。子どもの頃から水泳や長距離走が苦手（すぐに息が上がってしまう）で、大人になってからは時折ひどい偏頭痛があり、季節の変わり目には喉痛や咳で辛い思いをすることが多くありました。自分はそのような体質なのだと思いついて長年思い込んで来ましたが、その原因が鼻にあると判ったのが今年の11月、長引く咳と喉の風邪（と思いきや）を診てもらうために内科を受診したところ、その医師は風邪ではない可能性を指摘し、内科ではなく耳鼻咽喉科の専門医（鼻内視鏡手術、頭頸部外科手術が可能）の受診を勧められたのがそのきっかけとなったのでした。そして今から8年前、偏頭痛がひどかった時に、今回の手術でお世話になった病院の別の科（脳神経外科）で梗塞等の疑いがないかどうか、MRIやCTなどの検査をしてもらったことがありました。その時は特に原因となるようなことは見つからず肩こりからくる頭痛という説明でした。しかし今回の執刀医はその時に撮影した検査の画像を見て即座に「この時にもう副鼻腔炎が発症しているのが写っていますね」と、専門外のことは検査画像に写っていても見えない（見ていない）ものなのだなあと思いました。

今回のこれら経験を通して、人は思い込みや興味（や専門）の対象がどうかによって実際には見えていても見えない（見えていない）ことがあって、普段から「ものごとをきちんと正しく見ていく」ということを意識していないと、見えているようで実は見えていないことがあるということを改めて気付かされました。

最初に私を診察した内科の医師はかなりのベテランの先生のようなのですが、その分野での経験や知識が豊富でも先入観を持たず、あらゆる可能性を排除せず、様々な角度から客観的かつ大局的に物事を見ることの大切さは、医師だけでなくどのような職業でも、また普段の生活においてもあてはまることだと思います。これからの社会は今よりさらに複雑化、多様化し、答えが必ずしも一つとは限らない時代になっていきます。そのような時代にリーダーシップを発揮することの出来る人財となるためには、子どもの頃からいろいろな経験を経験すること（大人の側は子どもが様々な経験ができる環境を与えること）、様々な経験を経験することを通して興味の対象を広げ深めること（無理に大人が広げ深めるのではなく、子どもが経験を通して自然と興味を広げ深めるのを見守ること）、本物に触れること（興味を持ったものを子どもが本物に触れられるようにすること）、そして本を読むこと（幼い頃は大人が読んであげる）がとても大切です。

幼い頃の遊びや生活での「経験」と「興味」が、本を読むことで得られる様々な「知識」と結びつき、いろいろな角度から興味を持って物事を見る事が出来るようになってきたり、関連することへの新たな興味につながり視野が広がります。幼稚園では、一人ひとりの教諭が工夫をこらして、生活や遊びを通して子どもたちがたくさんの経験を経験することが出来る環境を創ったり、なるべく自然なカタチで多くのことに興味を持つことが出来るようなきっかけづくりを行ったりしています。どの子がどのような経験を通して、何に興味を持つかは事前に判るものではありませんが、出来る限り多くのきっかけづくりと一人ひとりの子のすがたを見ていくことをこれからもしっかりと続けながら、教員みんなでこれからの社会において幼児教育が果たすべき役割を考えていきたいと思っております。教職員一同、本年も宜しくお願い致します。

幼稚園統括園長
中嶋 謙仁

1月の指導計画

幼稚園では各クラスの担任が下記の指導案に基づき、子どもたちの学びと育ちをサポートしています。各ご家庭においても下記（今月のねらい）をご理解いただき「今日は幼稚園でどんなことをしたの？」など、お子さまとコミュニケーションしたり、同様の視点でお子さまと接していただくことで、お子さまの成長を感じて頂ければと思います。

年長 自分なりの目当てをもち、繰り返し工夫したり挑戦したりする楽しさを味わう
好きなことや考えたことを言葉で伝え合いながら、遊びのイメージを共有して楽しむ
季節の行事に親しんだり、冬の自然事象の変化に関心を高め、探求したりする

年中 試したり、工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。
友だちや教師と思いや考えを出し合いながら、一緒に遊び楽しさを味わう。
身近な自然事象の変化や美しさに興味や関心を持つ。

年少 冬の身近な自然に興味を持ち、見たり触れたりして楽しむ
伝承遊びや行事に興味を持ち、先生や友達と一緒に楽しむ

未満児 教師や友達と正月遊びやルールのある遊びを楽しむ
思いや欲求を言葉で伝えようとする
身の回りのことを自分でしようとする

子どもの姿（12月）

（年長）・「なかたうた」くんと「たなかそうた」くん、「そ」以外は同じ文字が使われていることに気づいた二人。二人の会話を聞いていて、〇〇ちゃんと△△ちゃんも似てるねなど他の子の間でも話が広がっていきました。5歳児はひらがなの仕組みが整理され、文字を自由に使いこなせるまでになってきます。最終的に気づいたことは、「なかた」「たなか」「かなた」同じ文字を並び替えただけで3人分の名前になるってことです！

（年中）・表現会当日、男の子は先生にヘアセットをしてもらい、髪の毛をカッコよく立ててもらいました。その直後、教室の鏡の前には男の子の列が。カッコよく髪型が決まっているかのチェックをし、立ち方が甘い子は先生にもう一度セットしてもらえるように頼んでいましたよ。

（年少）・ある寒い朝、部屋からヤギ小屋を見た時に、2匹の姿が見えないことを心配して「今日ヤギさんお休み？」と、かわいい質問をする子がいました。別の日、「ヤギさんの所に誰がいる！！」と驚いた様子で言うので見てみると…園長先生でした（笑）子ども達がヤギさんのことを思いやっているのが伝わり、ほっこりしました。

（満三歳児）・「あと何回寝たらサンタさんくるん？」と子どもたちが楽しみにしていたクリスマス。そんなお楽しみのクリスマスなのに、シール帳面のクリスマスの日のケーキのマークをみると「ここ〇〇ちゃんの誕生日〜♪」と何人もシール帳を開くたびに言うのがとっても可愛くて笑ってしまいました♡ また別日には子ども達の欲しいクリスマスプレゼントをインタビュー！トミカ、アンパンマン、チョコレート、ラムネ、、、。そんな可愛い返答にも癒されたのですが、お帰りの歌の時にふと、「あ！やっぱりぼくほそばたせんせいになりたい！にするわ！」なんて七夕の願い事にしても可愛すぎる発言にとろけてしまいました♡教師冥利につきるとはこの事ですわね♡ ・表現会の日につくし組のカーテン横から出てきたサンタさんからプレゼントをもらいました。それを週明けも覚えていて、朝、男の子2人が登園するなり、カーテンを開けて「あれ？やっぱおらんわ！」と確認していておもしろかったです！きっと子ども心に焼きついて不思議だったのでしょね！

防寒着について

ジャンパーを着て通園する子が多くなってきました。ジャンパーはフックに掛けます。そのため必ず掛け紐を付けてください。マフラーや手袋は自由としていますがとても落とし物が多いです。書きにくい素材もあるかと思いますが必ず記名をお願いします。

雪遊びについて

まだ、雪遊びができるほどの積雪はないのですが、晴れている時にはジャンパーを着て園庭に出ることがあります。外履きズックを持たせてない方は持たせてください。雪遊びをすると、下着まで濡れることが多々ありますので、スキーウエアーの袋の中には、ナイロン袋に入れた下着・靴下の替え1組を一緒に入れておいてください。足カバーは長靴に取り付けて通園になりますので、使用した日はカバーを長靴から外して乾かし、また長靴に取り付けてあげてください。お願いします。

教職員の異動について

退職（1月31日付）在職中は大変、お世話になりました！

佐藤 直樹（運転技師）

ハマ・スندگانリ・ベラルル（英語講師）

新任（1月1日付）宜しくおねがいします！

西本 隆（運転技師）